

令和5年度全国高等学校総合体育大会登山大会
第67回 全国高等学校登山大会
第1回安全対策会議 (R4.9.17~19)

所 属 ()

氏 名 ()

全国高等学校総合体育大会登山大会事務局

1 行動役員

体育館舞台			
○ ○ ○ ○ 本部			
自衛隊以外の方は名札のある席に着席してください			
Aコース隊 ◎	A支援隊 ◎	Bコース隊 ◎	B支援隊 ◎
○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ . 審査員	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ . 自衛隊 . .
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ (その他の行動役員)			

- | | | |
|------------|---------------|------------------|
| Aコース隊長 | ◎小池 圭太 (旭川工業) | |
| Aコース副隊長／先発 | 山下 宗紀 (旭川商業) | 山本 圭 (帯広農業) |
| A 1班 (正／副) | 佐々木 亮介 (札幌北) | 井上 聡 (山岳部○B) |
| A 2班 (正／副) | 米倉 志高 (山岳部○B) | 坂谷内 颯斗 (道教育大岩見沢) |
| A 3班 (正／副) | 畑野 和宏 (遠軽) | 目谷 祐太 (遠軽地区消防) |
| A 4班 (正／副) | 藁口 一哲 (帯広柏葉) | 加藤 武志 (山岳部○B) |
| A 5班 (正／副) | 塩谷 和樹 (市立函館) | 安田 翔雲 (山岳部○B) |
| A 6班 (正／副) | 二瓶 伸一 (高体連○B) | 植木 玲 (有朋) |
| A通信／監督対応 | 本郷 蒼良 (山岳部○B) | 港 哲平 (札幌西) |
| A記録／隊付総務 | 八島 伊吹 (山岳部○B) | 坂井 励 (北大雨竜演習林) |

A支援隊

- | | | |
|-----------|---------------|---------------|
| A支援隊長／副隊長 | ◎田中 拓己 (札幌北) | 沢田 大輝 (札幌南) |
| A支援 (隊付き) | 酒井 明 (札幌南) | 天野 俊浩 (帯広柏葉) |
| | 帯川 慎平 (札幌工業) | 日向 真樹 (室蘭栄) |
| | 田辺 亮輔 (苫小牧高商) | 佐藤 慶典 (酪農学園大) |
| | 伊藤 一輝 (苫小牧高商) | 星野 弘樹 (酪農学園大) |
| | 清野 恵多 (酪農学園大) | |

Bコース隊

- | | | |
|------------|---------------|------------------|
| Bコース隊長 | ◎飯田 一三 (旭川東) | |
| Bコース副隊長／先発 | 細野 瑛 (旭川医大病院) | 板垣 教一 (江別) |
| B 1班 (正／副) | 三戸 涉 (室蘭栄) | 後藤 柁太 (北教大旭川) |
| B 2班 (正／副) | 桐尾 義之 (高体連○B) | 谷山 直俊 (遠軽地区消防) |
| B 3班 (正／副) | 松本 奈巳 (札幌北) | 近藤 凜子 (山岳部○B) |
| B 4班 (正／副) | 竹中 正喜 (釧路商業) | 桑原 優夏 (岩手大学) |
| B 5班 (正／副) | 鈴木 容佳子 (江別) | 合浦 みのり (アイングループ) |
| B 6班 (正／副) | 西 千秋 (高体連○G) | 葛西 春嬉 (コ味ッカル円山) |
| B通信／監督対応 | 業天 真由美 (旭川工業) | 小野 和彦 (北見北斗) |

B記録／総務

中條 恵 (旭川東)

B支援隊

B支援隊長／副
B支援

◎山下 文孝 (北星女子) 川名 典道 (高体連OB)
今井 一穂 (利尻) 岩橋 一成 (北星女子)
Couture Alexander (北星女子) 高 純夫 (汪別)
高井 勝巳 (高体連OB) 木藤優太郎 (酪農学園大)
柴田 一 (室蘭栄) 汪頭ひかる (帯広畜産大)
田中 雅人 (山岳部OB)

設営隊

設営隊長／副隊長
設営隊

藤本 和夫 (岩見沢東) / 水野 秀人 (帯広大谷)
中林 隼人 (八雲) 林 保彦 (八雲)
中新井 尊 (北見北斗) 林 宏司 (シダックス)
水野 憲雄 (星槎国際) 梅川 悟史 (岩見沢東)

その他の行動役員

通信隊長／副隊長・記録
CP隊長／副隊長
(兼通信隊)

牛久保 琢哉 (旭川永嶺) / 及川研一郎 (旭川北)
漆山 裕章 (旭川西) / 玉森 一 (釧路湖陵)
黒津 豊輝 (北広島) 佐々木 隆光 (帯広柏葉)
川口 翼 (根室) 夫川 智史 (根室)
木谷 弥彦 (小樽潮陵) 今 啓輔 (釧路北陽)
申川 智 (芽室) 齊藤 風香 (美瑛町役場)
岡本 祥一 (美瑛町役場) 丸山 大亮 (北海道科学大)
杉山 透来 (山岳部OB)

医療隊
サポート隊長

三浦 裕 (至学館大学・国際山岳医)
城座 研一 (富良野緑峰) 瓶田 幸宏 (富良野緑峰)
関村 康則 (旭川工業) 伊藤 純子 (札幌西)
永木 正彦 (帯広三条) 日下 哉 (道自然エネ研)

専門委員長対応

本部役員・運営役員

競技副委員長
競技副委員長
登山隊長
総務委員長
総務副委員長

(道高体連登山専門部長)
小野 倫夫 (道岳連名誉会長)
内海 健一 (旭川北)
細野 護 (旭川北)
高橋 健一 (旭川東) 石丸 高志 (旭川西)

審査員

木村 宣幸 (北広島) 相田 敬史 (釧路湖陵)
山納 秀俊 (小樽潮陵) 大塚 徹 (札幌南)
大井 聡 (札幌工業) 松永 直樹 (函館ウ・サール)
青山 泰教 (北見柏陽) 藤原 幸二 (苫小牧高商)

2 日 程

9 月 1 7 日 (土)	10 : 30 設営隊集合・設営準備 車両は東川町運動公園駐車場、海洋センターテニスコート側駐車場に駐車 11 : 30 受付 (東川町B&G海洋センター) 12 : 30 開会式 13 : 00 テント設営審査 13 : 30 安全対策会議・指導者研修会 (BG体育館) (日程説明、チーフ役員紹介) 13 : 30 ペーパーテスト (町民運動公園スタンド・下敷き持参) : 審査 15 : 30 炊事開始 審査 夕食 16 : 30 役員監督夕食配布 役員・監督宿泊準備 (帰宅者は解散) 19 : 30 就寝
9 月 1 8 日 (日)	3 : 00 起床・役員監督朝食、昼食受け取り・ 引継式 3 : 45 運動公園駐車場バス乗車 (サブ行動) 5 : 15 層雲峡ロープウェイ駅 5 : 30 ロープウェイ・リフト乗車 6 : 30 黒岳7合目登山開始 (班行動) 7 : 30 黒岳着 休憩 チーム行動準備 8 : 00 チーム行動出発(CPS) 10 : 00 CP1北鎮岳着 (規定/制限 男子100/110 女子110/120) 11 : 00 中岳分岐 12 : 00 裾合分岐 13 : 00 CP2姿見駅 (男子280/300) (女子300/320) 14 : 30 CPG旭岳温泉登山口着 (男子360/390) (女子390/420) バス乗車 15 : 00 森のゆ花神楽入浴 ~ 16 : 30 バス移動 引継式 16 : 30 安全対策会議・指導者研修会 (BG体育館) ~ 17 : 30 17 : 30 夕食(弁当配布) 20 : 00 就寝
9 月 1 9 日 (月)	4 : 00 起床 役員監督朝食受け取り 引継式 5 : 00 運動公園駐車場発(各顧問車またはマイクロバス) (サブ行動) 6 : 00 旭岳青少年野営場前駐車場チーム行動発 CPS 8 : 00 CP1旭岳石室 下山開始 10 : 30 旭岳温泉登山口 (各顧問車またはマイクロバス乗車) 11 : 30 東川町民運動公園着・テント撤収 安全対策会議・指導者研修会 12 : 30 閉会式 (健康カード回収) 13 : 00 解散

3 開会式

別途

4 安全対策会議（13：30～）

日程説明 役員紹介(内海)

1. 登山競技とは

1チーム4名の選手で構成される団体競技で、体力、歩行、読図、テント設営、知識など、11項目について得点化し、その成績を競う。

知識審査

体力・歩行審査

2. 全国高校総体（インターハイ）出場チームについて

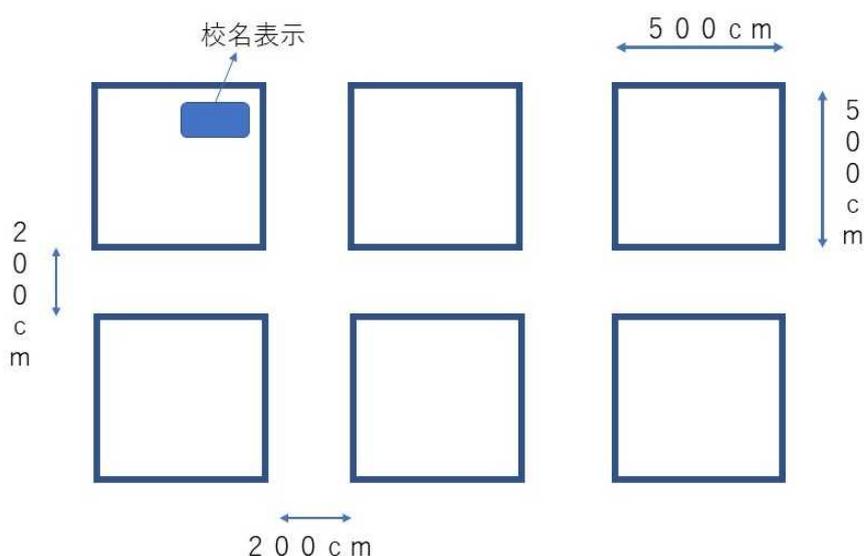
各都道府県より、男女各1チームが県総体等の予選会で選抜される。開催自治体は2校出場のため、2校目の都道府県ナンバーは50番になる。北海道は1番。（それぞれのチームに監督が1名）
インターハイでは、男子をA隊、女子をB隊と呼ぶ。

3. 行動役員業務のポイント

- ・安全な登山行動を最優先（何かあったらコース隊長、支援隊長に報告、相談・無線を活用）
- ・各業務内容の理解（地区大会、全道大会と違います） デジタル80
- ・審査に配慮した運営（支援(手助け)や場所の特定につながる言動に注意） IP 10
審査の内容についても知っておく必要あり
- ・役員が大会中に体調を崩さないように、健康管理と体力づくりに留意

4. 設営・登山行動の様式

◎設営隊：本部＝グラウンドミーティングルーム



500×500 で今回は4人用2張り、感染症関係で4人用1張り、1人用3張りの可能性もあり。200 cm通路は審査からの要請

事前準備

キャンプ地区分け

* 幕営審査の時はすべて審査員に任せる

* 引継式 幕営中は設営隊長管轄→朝の引継式でコース隊長管轄へ
夕の引継式で設営隊長管轄へ

今回は選手整列や体調不良者の確認、出発までの連絡のみ

* トイレ清掃、トレペ補充
(IHでは仮設トイレ20の予定)
補充:BG事務室

- ・今回は常設トイレ(清掃、補充のシミュレーション・泥の掃き出し各自やるよう指導) 準備

*炊事場 自衛隊 1 t タンク車8台、シンク16台予定 : シンクとの結合

排水施設: 業者に依頼予定

- ・今回は給水と煮沸水の排水のみ
- ・ゴミ(燃えるゴミ: 紙ビニル ペットボトル)

*起床時間での照明灯点灯・・・全灯予定: 出発後消灯

- ・今回 9/18(日)3:00点灯 日の出消灯
- 9/19(月)4:00点灯 日の出消灯

- ・各日出発後: 休憩、清掃、本部との打ち合わせ、安全対策会議準備補助、安全対策会議出席 9/19

*審査員は完全別行動 *CP隊先行

◎班行動(9/18黒岳まで) A, B隊合同

- ①先発 ②副コース隊長 ③各班 ④支援隊 ⑤コース隊長 隊付総務 記録・通信
 医療・自衛隊 監督対応・委員長対応
 八雲、岩東顧問

時刻は黒岳7合目出発、□・・・デジタル簡易無線、■・・・IP無線)

6:10 □先発・・・コースの安全確認

6:10 □コース副隊長(旗手)

6:30 1班 □副班長、選手3チーム(12名)、□班長

6:33 2班 □副班長、選手3チーム(12名)、□班長

6:36 3班 □副班長、選手3チーム(12名)、□班長

6:39 4班 □副班長、選手3チーム(12名)、□班長

6:42 5班 □副班長、選手2チーム(8名)、□班長

6:45 6班 □副班長、選手3チーム(12名)、□班長

□総務、■通信、□コース隊長

□支援隊長、■支援副隊長、支援隊員、□医療1、自衛隊

班離脱・・・班行動において、再三7~8mの間隔が空く、または歩けなかったら、班長はコース隊長に連絡し、チーム全員(4名)を班から外し、コース隊長に預ける。

隊離脱・・・隊行動において、班離脱後、さらにコース隊長が対全体を把握するのに支障が出るほど遅れるようであれば、コース隊長の判断により、隊の最後尾(隊長の後ろ)に回す。この時点で対離脱となる。また、チーム行動において、隊長より後ろになった場合も隊離脱として扱う。コース隊長は必要とあれば、医師の診断を依頼する。

行動離脱・・・支援隊長より、隊離脱したチームがさらに遅れると報告を受けた場合、コース隊長の判断により支援を受けさせる。(基本的にはチームを下山させる)

◎チーム行動(9/18黒岳~旭岳温泉、9/19旭岳温泉~姿見) }・・・各チームの行動をサポートする

先行+ は先発、CP隊、

サポート隊(9/18姿見~裾合分岐・9/19先発とともにコースサポート)

隊列を編成せず、4名の選手で構成されたチームがそれぞれのペースでゴールを目指す

(進行方向)

- ← ①先行+ ②副隊長 ③各チーム ④支援隊 ⑤コース隊長 隊付総務・記録・通信
 班長副班長 医療・自衛隊 監督対応・委員長対応

(ルール)

- ・副隊長を追い越さず、各隊最後尾のコース隊長に遅れることがないペースで歩行する。
- ・規定時間と制限時間を設定し、スタート、CPおよびゴールで計時する。(ICONIT+計時)
- ・制限時間を超えた場合、行動を打ち切ることがある。(隊長判断)

9/18 CPS(黒岳) ICONIT1名 計時1名
CP隊 ■玉森(釧湖)、木谷(樽潮)
支援隊 田辺(苫商高)、伊藤(苫商高)

コースサポート 黒岳石室前分岐 B3班長 松本(札北)
(北鎮雪溪) B1班長副班長 三戸(室栄)、後藤(北教旭)
北鎮分岐 A34班長副班長 畑野(遠軽)、目谷(遠軽消防)

CP1(北鎮頂上) ICONIT1名 計時1名
CP隊 ■漆山(旭西)、斉藤(美役)、岡本(美役)
支援隊 清野(酪大)、木藤(酪大)

コースサポート 中岳分岐 B4班長副班長 竹中(釧商)桑原(岩大)
裾合分岐 B2班長副班長 谷山(遠軽消防) サポート隊
姿見周辺 A124班長副班長 井上(山岳部OB) 米倉(山岳部OB)
坂谷内(北教岩)、葦口(帯柏)

CP2(姿見駅) ICONIT1名 計時1名
■高橋(旭川東)、杉山(山岳部OB)
支援隊 佐藤慶(酪大)、星野(酪大)

*各班長副班長はチームの間に入る

CPでのQR、時間計測者は終了後支援と合流

サポート隊は姿見～

CPG(旭岳温泉) ICONIT1名 計時1名
■石丸(旭川西)、山下(旭川商業)、板垣(江別) 細野(旭川医大病院)

9/19 旭岳温泉

キャンプ場前駐車場 ICONIT1名 計時1名 終了後
CP隊 ■玉森(釧湖)、木谷(樽潮) 支援隊とともに姿見へ
支援隊 田辺(苫商高)、伊藤(苫商高)、佐藤慶(酪大)、星野(酪大)

班長副班長はチーム間に入り観察

CP1旭岳石室前 ICONIT2名 計時2名 CP隊5名
CP隊 ■漆山(旭西)、斉藤(美役)、岡本(美役)、杉山(山岳部OB)
支援隊 清野(酪大)、木藤(酪大)
下りは班行動

■はIP電話持参者・デジタル無線持参者とともに行動する、各場所中継を兼ねる

本部 東川町B&G海洋センター(0166-82-4600・内海携帯090-2870-7388)
内海(旭川北) 牛久保(旭川永嶺・通信) 及川(旭川北・通信)
藤本(岩見沢東・設営) 水野(帯広大谷・設営) 中林(八雲・設営) 中新井(北見北斗・設営)
移動隊 (細野携帯090-2875-4028)
細野(旭川北) 高橋(旭川東) 石丸(旭川西) 中條(旭川東) 桐尾(高体連OB)

(タイム設定案)

黒岳北鎮岳縦走コース ※6班17チーム 3分毎

		スタート(黒岳)	CP1(北鎮岳)	CP2 (姿見駅))	ゴール(旭岳温泉)
A隊	規定		1時間40分	4時間40分	6時間00分
	制限		1時間50分	5時間00分	6時間30分
B隊	規定		1時間50分	5時間00分	6時間30分
	制限		2時間00分	5時間20分	7時間00分
先行		7:20			
副隊長		7:20			
1班		7:40			
2班		7:43			
3班		7:46			
4班		7:49			
5班		7:52			
6班		7:55			
支援隊・隊長		8:00			

旭岳コース ※6班17チーム場 3分毎

		スタート(旭岳野営場駐車場)	CP1(旭岳石室)
A隊	規定		2時間00分
	制限		2時間20分
B隊	規定		2時間20分
	制限		2時間40分
先行		5:30	
副隊長		5:30	
1班		6:00	
2班		6:03	
3班		6:06	
4班		6:09	
5班		6:12	
6班		6:15	
支援隊・隊長		6:20	

5. 行動役員業務（案）

	役職	班行動	チーム行動
登山隊	先発	コースの安全確認	同左
	副隊長	旗手(生徒2名)を引率 登山隊のペースメーカー	旗手(生徒2名)を引率 先頭選手のペースを抑える
	記録	副隊長Bの周辺で行動 歩行や休憩の様子を撮影 隊の状況を記録	同左
	副班長	班(4人×8チーム)の先頭を歩く ルート間違いをしないように引率 班のペースメーカー	コースサポート、CP補助、チーム行動観察を行う
	班長	班全体の統率、把握 班離脱したチームを引き継ぐ 引き継いだ班離脱チームが遅れる場合、 隊離脱を宣告し、支援隊に引き継ぐ	コースサポート、CP補助、チーム行動観察を行う
	隊長	隊全体の統率、把握 班離脱したチームを引き継ぐ 引き継いだ班離脱チームが遅れる場合、 隊離脱を宣告し、支援隊に引き継ぐ	制限時間のペースで歩行 隊離脱になるチームの対応を決定 (下山指示、支援隊への引継ぎ)
	通信	隊長の通信内容をIPで本部に中継 隊内のデジタル無線機の運用補助	同左
	総務	ポイントの回収(B隊のみ) 無線機の管理業務補助 隊長業務のサポート	同左
支援隊	隊長	隊離脱チームの管理、下山対応 コース隊長との連携 支援隊運行の指示	同左
	副隊長	隊長のサポート IPで本部に状況報告	同左
	医療	支援隊本体に帯同し、医療処置を行う	同左
	隊付支援	医療のサポート・離脱チーム支援、 下山付き添い	同左
	自衛隊	担ぎ搬送、別系統無線通信	同左
その他	監督対応	監督の行動管理(引率、点呼) 監督への緊急連絡(離脱時など)	同左
	専門委員長対応	専門委員長の行動管理・状況連絡	同左

6. デジタル無線機・IP電話の使用方法

デジタル無線(登録制使用者免許不要)

AB隊支援隊と審査員はチャンネルを分ける:イヤホンマイク使用 (例)AB隊支援隊救護:5ch
携帯の電波がなくても見通しがあれば、通話可能。 審査 :8ch

谷、尾根越え、凹地などで電波が届かない場合有り

IP電話 (登録制使用者免許不要)

携帯の電波を使っての通話、距離が離れてもクリアに聞こえる。
山中で携帯の電波が不安定だと使えない。
主に、本部(東川町海洋センター)との連絡

①機器と注意点(使用法については両機種ともほぼ共通)

- ・音量の大小はON/OFFスイッチを兼ねたつまみで行うが、風雨などで聞き取りにくい場合がある。
- ・防水仕様だが、雨霧等の水濡れに注意する
- ・イヤホンマイクの聞き取り部ゴム、耳掛け用パーツ、マイクカバーの紛失が多い。(弁償)
- ・PTTスイッチをしっかり押して、一呼吸置いてゆっくりはっきり話す。
- ・手元のマイクスイッチがスイッチが入りっぱなしになっていたり、マイクロックがかかってしまったりすると、すべての通話ができなくなってしまう。定期的にチェックを。

②通信方法

A「こちら(役職A)です。」「(役職B)感度有りますか?どうぞ」

B「ハイこちら(役職B)。感度良好・感度良くありません(役職A)どうぞ。」

A「(感度が良くない場合=)移動して再度連絡します。通信終わり」

A「(感度良好の時)(用件)どうぞ」

B「(用件)どうぞ」

A「(用件)通信終わり」

*相手に先の通話を促す場合「どうぞ」(自衛隊通信は「送れ」)
会話を終了する場合「通信終わり」を使い、中途半端な会話や情報伝達を防ぐ

*イヤホンマイクをつけていても、自分の会話は周りの選手等に聞こえるので、審査に関わること(地形、植物、地点名、順位、等は必要最小限にし、特に現在地点や場所の連絡は役員用の地点名を使用すること)

*機器の受け渡し・充電 : 通信隊長・副隊長が管理
充電場所 : 東川町B&G海洋センター

IP無線 デジタル無線保持一覧

■IP無線 □デジタル無線

Aコース隊長	□小池 圭太(旭川工業)	
Aコース副隊長/先発	□山下 宗紀(旭川商業)	出本 圭一(帯広農業)
A1班(正/副)	佐々木 亮介(札幌北)	□井上 聡(山岳部OB)

A2班(正/副)	米倉—志高(山岳部OB)	□坂谷内 颯斗(道教育大岩見沢)
A3班(正/副)	□畑野 和宏(遠軽)	□目谷 祐太(遠軽地区消防)
A4班(正/副)	□藁口 一哲(帯広柏葉)	加藤—武志(山岳部OB)
A5班(正/副)	塩谷—和樹(市立函館)	安田—翔雲(山岳部OB)
A6班(正/副)	□二瓶 伸一(高体連OB)	植木—玲—(有朋)
A通信/監督対応	□本郷 蒼良(山岳部OB)	□港 哲平(札幌西)
A記録/隊付総務	八島—伊吹(山岳部OB)	□坂井 励(北大雨竜演習林)

A支援隊

A支援隊長/副隊長	□田中 拓己(札幌北)	日沢田—大輝(札幌南)
A支援(隊付き)	酒井—明(札幌南)	天野—俊浩(帯広柏葉)
	□帯川 慎平(札幌工業)	日向—真樹(室蘭栄)
	□田辺 亮輔(苫小牧高商)	□佐藤 慶典(酪農学園大)
	□伊藤 一輝(苫小牧高商)	□星野 弘樹(酪農学園大)
	□清野 恵多(酪農学園大)	

Bコース隊

Bコース隊長	□飯田 一三(旭川東)	
Bコース副隊長/先発	□細野 瑛(旭川医大病院)	□板垣 教一(江別)
B1班(正/副)	□三戸 涉(室蘭栄)	□後藤 柊太(北教大旭川)
B2班(正/副)	□桐尾 義之(高体連OB)	□谷山 直俊(遠軽地区消防)
B3班(正/副)	□松本 奈巳(札幌北)	近藤—凜子(山岳部OB)
B4班(正/副)	□竹中 正喜(釧路商業)	□桑原 優夏(岩手大学)
B5班(正/副)	□鈴木 容佳子(江別)	□合浦 みのり(アイングループ)
B6班(正/副)	□西 千秋(高体連OG)	□葛西 春嬉(コホッカル円山)
B通信/監督対応	■業天 真由美(旭川工業)	□小野 和彦(北見北斗)
B記録/総務	□中條 恵(旭川東)	

B支援隊

B支援隊長/副	□山下 文孝(北星女子)	■川名 典道(高体連OB)
B支援	□今井 一穂(利尻)	□岩橋 一成(北星女子)
	□Couture Alexander(北星女子)	高—純夫(汪別)
	□高井 勝巳(高体連OB)	□木藤優太郎(酪農学園大)
	□柴田 一(室蘭栄)	汪頭ひかる(帯広畜産大)
	□田中 雅人(山岳部OB)	

設営隊

設営隊長/副隊長	□藤本 和夫(岩見沢東)	/	□水野 秀人(帯広大谷)
設営隊	□中林 隼人(八雲)		□林 保彦(八雲)
	□中新井 尊(北見北斗)		林—宏司(シダックス)
	水野—憲雄(星槎国際)		□梅川 悟史(岩見沢東)

その他の行動役員

通信隊長/副隊長・記録	■□牛久保 琢哉(旭川永嶺)	/	□及川研一郎(旭川北)
CP隊長/副隊長	■漆山 裕章(旭川西)	/	■玉森 一(釧路湖陵)
(兼通信隊)	黒津—豊輝(北広島)		佐々木—隆光(帯広柏葉)
	川口—翼(根室)		大川—智史(根室)
	□木谷 弥彦(小樽潮陵)		今—啓輔(釧路北陽)
	中川—智(芽室)		□斉藤 風香(美瑛町役場)
	□岡本 祥一(美瑛町役場)		丸山—大堯(北海道科学大)
	□杉山 透来(山岳部OB)		
医療隊	□三浦 裕(至学館大学・国際山岳医)		
サポート隊長	□城座 研一(富良野緑峰)		瓶田—幸宏(富良野緑峰)

@緊急時の無線通信・対応

* 体調不良者、怪我が生じたとき

- 班長副班長で状況を確認
- 班長がコース隊長に状況を報告
- パーティー内で処置できる場合は、班を止めて、処置させる。
- 班長・コース隊長が医療隊の判断を仰ぐ必要があると判断する場合は一度、班から離脱させ、コース隊長管轄とする
- 医療隊の判断、自分たちの処置で班行動に復帰できそうなときは、コース隊長から班長に連絡し、班に復帰させる
- 状況を時系列で隊付総務から本部に報告

チーム行動時：体調不良者、怪我、熊、雷などのやむを得ない状況が生じたとき

- 近くの役員(直前のコースサポート、パーティー間の班長副班長)への申し出
(雷は四国IHで緊急時携帯電話から雷の中進んでいいのかどうかの連絡あり)
または各自の持つ携帯電話で連絡
- 班長副班長その他役員が状況を把握
- コース隊長に連絡
- 医療隊、支援隊の必要の有無をコース隊長が顧問に確認して判断、または緊急に判断
(本部判断も有り■：担ぎ搬送、ヘリ輸送糖の判断)
- 本部に時系列で報告、本部で決定状況をコース隊長に連絡対処

3 役員養成研修 I (R4. 9. 17)

○本日の行動を通して気づいた点(設営隊・その他現地で)

○改善点

4 役員養成研修Ⅱ (R4. 9. 18)

○本日の行動を通して気づいた点

○改善点

5 役員養成研修Ⅲ (R4. 9. 19)

○本日の行動を通して気づいた点

○改善点